

# 精神保健福祉センター所報

平成 26 年 度

新潟県精神保健福祉センター

## 巻 頭 あ い さ つ

平成 26 年度の新潟県精神保健福祉センター所報をお届けします。この 1 年間の活動に御協力いただいた関係各位に深く感謝するとともに、本号を御高覧のうえ忌憚のない御意見・御指導を賜りますようお願い申し上げます。

新潟県精神保健福祉センターの平成 26 年度事業を振り返ってみると、主な課題は自殺対策、精神科長期入院患者の地域移行・地域定着支援、高次脳機能障害相談支援の三者でした。自殺対策に関しては市町村、県の各地域機関との協働によるゲートキーパー養成、自死遺族支援者研修会、ポストベンション支援者研修会を実施しました。長期入院患者の地域移行・地域定着支援に関しては普及啓発、平成 24 年度に実施した長期入院患者の現状確認と支援の取り組みに関する報告書の作成、各職域団体との協働での専門研修、ピアサポート活動等を行いました。高次脳機能障害相談支援に関しては、同相談支援センター事業として事例を重ねるとともに、フォーラム等のイベントによる普及啓発、圏域別家族のつどい、専門職員向け研修等を引き続き実施しました。

新たな課題としては、平成 25 年度に設置されたひきこもり地域支援センターに関し、各地域振興局と連携し相談等を担当するとともに、従来からの思春期大規模研修会を兼ねて家族・支援者を対象とする講演会を開催しました。また、中越大震災後 10 年を経過し復興基金事業として県精神保健福祉協会に設置されていたこころのケアセンターは活動を終了し、同協会はふくしま支援者サポート事業を受託しましたが、新態勢への移行を事務局として支援しました。

精神障害者家族会等関係団体との連携、精神保健福祉相談の充実、ホームページ等を通じた積極的な情報発信はいずれも引き続き専門機関として今後につなげていくべき大きな課題といえるでしょう。こうした活動の基礎となる精神保健福祉専門職員の知識・技術習得の機会としての研修事業は、年度内で日程が集中することのないよう計画を立てて実施しました。今後とも県民の皆様のニーズにお応えすべく研鑽を積んでまいります。

最後になりましたが、日ごろより当センターの各種事業に御支援・御協力をたまわる関係各位に厚く感謝申し上げますとともに、今後とも倍旧の御支援をお願いして、巻頭のごあいさつといたします。

平成 28 年 2 月

新潟県精神保健福祉センター

所長 阿部 俊幸

# 目 次

## I センターの概要

1 職種別職員構成	1
2 予 算	1
3 施 設 の 概 要	2

## II 事 業 実 績

1 技術指導及び技術援助	4
2 教育研修	6
3 普及啓発	9
4 調査研究	10
5 精神保健福祉相談	11
6 組織育成・支援	13
7 精神医療審査会事務	14
8 自立支援医療及び精神障害者保健福祉手帳に関する判定事務	16
9 精神科救急医療システム情報管理・情報提供	17
10 自殺対策	19
11 思春期精神保健相談事業	26
12 ひきこもり地域支援センター事業	28
13 災害後の精神保健福祉対策	30
14 障害者総合支援法関連事業	31
(1)精神障害者地域移行・地域定着支援事業	31
(2)高次脳機能障害相談支援センター事業	34
15 協議会等	40

# I センターの概要

## 1 職種別職員構成

形態 \ 職種	医師	精神保健福祉 相談員 (心理含 む)	高次脳機能障 害相談支援コ ーディネータ ー	一般事務	計
常 勤	1(4)	6		2	9(4)
非常勤	7		1		8
計	8(4)	6	1	2	17(4)

※ ( )は県立精神医療センターとの兼務である。

## 2 予 算

### (1) 歳 入 (円)

科 目	調 定 額	収 入 額
(款) 使用料及び手数料	1,772,875	1,772,875
(項) 使 用 料	1,772,875	1,772,875
(目) 行政財産使用料	1,772,875	1,772,875
(節) 土地使用料	49,867	49,867
(節) 建物使用料	1,723,008	1,723,008
(款) 諸 収 入	2,053,330	2,053,330
(項) 雑 入	2,053,330	2,053,330
(目) 雑 入	2,053,330	2,053,330
(節) 雑 入	2,053,330	2,053,330

### (2) 歳 出 (円)

科 目	予 算 額	支 出 済 額
(款) 福 祉 保 健 費	8,093,468	8,093,468
(項) 障害福祉費	8,093,468	8,093,468
(目) 精神保健福祉センター費	8,093,468	8,093,468
(節) 報 酬	218,400	218,400
(節) 報償費	63,600	63,600
(節) 旅 費	275,212	275,212
(節) 需用費	4,378,665	4,378,665
(節) 役務費	380,588	380,588
(節) 委託費	2,504,843	2,504,843
(節) 使用量及び賃借料	122,960	122,960
(節) 負担金・補助及び交付金	106,000	106,000
(節) 公課費	43,200	43,200

(\*職員の給与、精神障害者保健福祉手帳等の事務及び精神医療審査会事務経費を除く。)

### 3 施設 の 概 要

(1) 名 称 新潟県精神保健福祉センター

(2) 所 在 地 〒950-0994 新潟市中央区上所2丁目2-3

新潟ユニゾンプラザハート館

代表電話 025 (280) 0111

相談電話 025 (280) 0113

F A X 025 (280) 0112

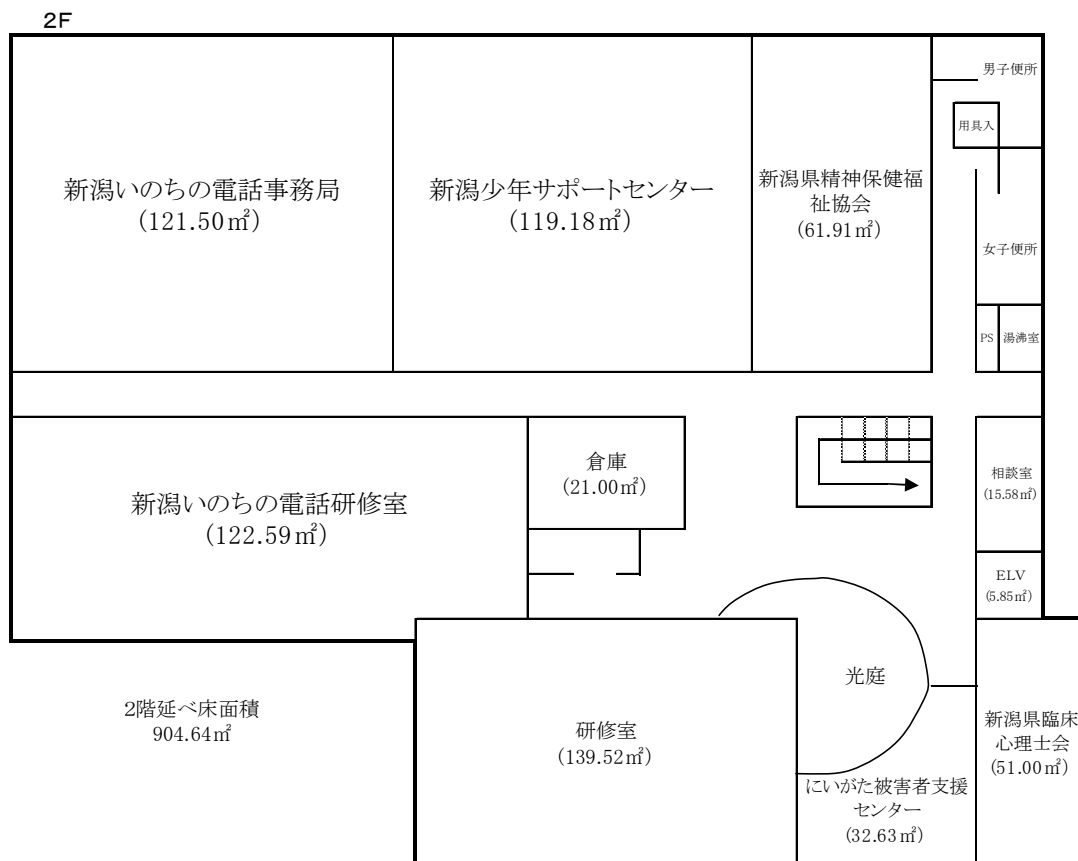
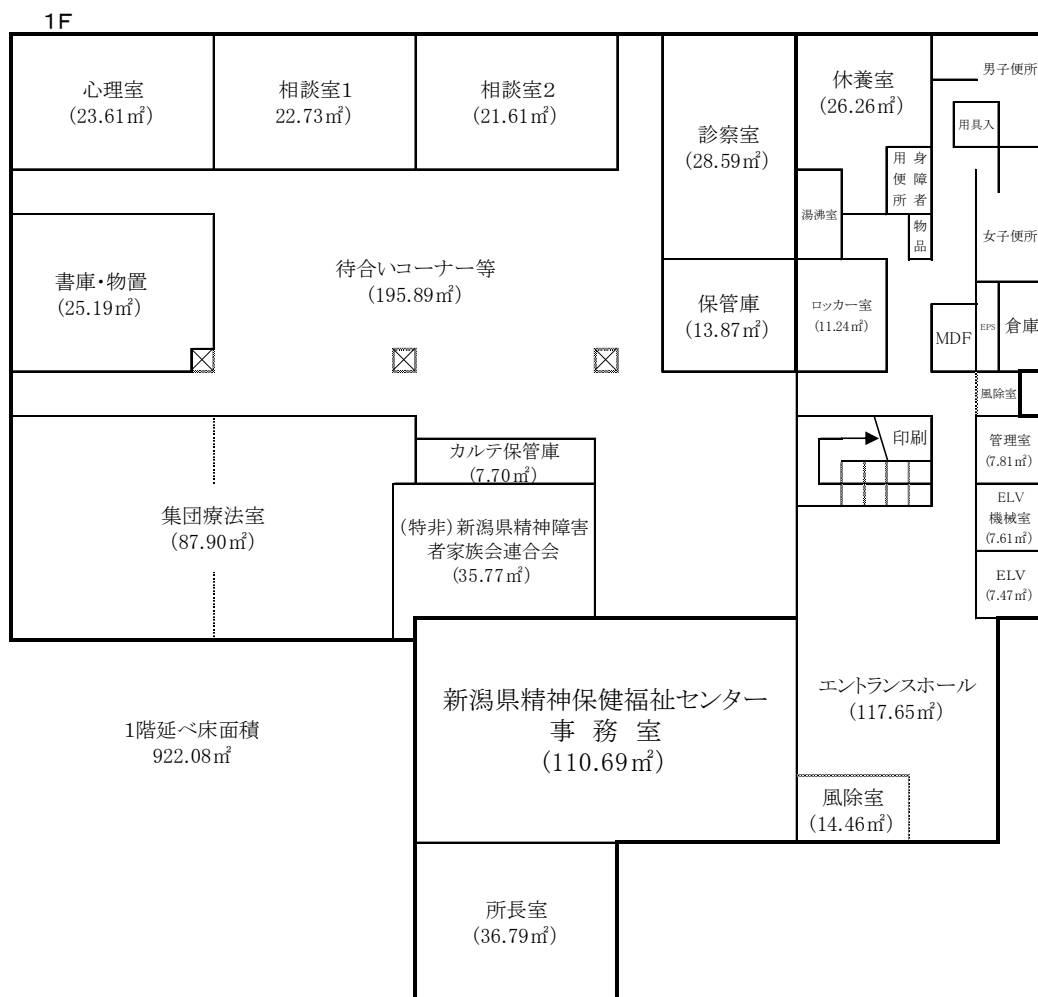
#### (3) 沿 革

- 昭和43年4月1日 新潟市川岸町1丁目57番地1に厚生相談センター（中央児童相談所、婦人相談所を加えた合同庁舎）の3階と2階の一部に「新潟県精神衛生センター」として設置。庶務課と相談指導課の2課制。専任職員12名
- 昭和46年4月1日 専門職員が1名削減され、11名
- 昭和58年4月1日 規制改正により課制廃止となり業務分担制となる。庶務課分掌事務は衛生部医務課庶務係の所管となる。専任職員11名が7名に削減
- 昭和63年3月29日 精神衛生法の改正により、「精神保健センター」に改称
- 平成7年4月1日 平成7年3月に中央児童相談所等の移転に伴い、庁舎名を精神保健センターへ名称変更。単独庁舎となる。所管は環境保健部公衆衛生課
- 平成7年7月10日 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律により、「新潟県精神保健福祉センター」に改称
- 平成10年 庁舎の大規模改修（耐震補強）工事が行われる。
- 平成13年4月1日 専任職員（事務）1名が増員され8名体制となり、庶務的分掌事務が福祉保健部健康対策課から移管  
精神医療審査会の事務、精神障害者保健福祉手帳と自立支援医療（精神通院）に関する判定の事務も移管
- 平成14年4月1日 専任職員（精神保健福祉相談員）1名が増員され9名体制となる。
- 平成16年3月8日 新潟市上所2丁目2-3新潟ユニゾンプラザハート館へ移転  
相談専用電話の開設
- 平成22年4月1日 高次脳機能障害相談支援センター開設。相談専用電話が設置され、翌年1月には専任コーディネーターが配置される。
- 平成25年4月17日 障害福祉課内に開設された「新潟県ひきこもり地域支援センター」を支援するため当所に専用相談電話を開設。研修・啓発・技術支援も当所が担当

#### (4) 案 内 図



(5) 施設配置図



## Ⅱ 事業実績

### 1 技術指導及び技術援助

#### 地域振興局健康福祉(環境)部等への技術援助

地域振興局健康福祉(環境)部をはじめとして、関係機関からの要請に応じ職員を派遣し、技術支援等を行った。

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
村上地域振興局 健康福祉部	○地域自殺対策推進協議会	情報提供	26人
新発田地域振興局 健康福祉環境部	○地域自殺対策推進協議会	情報提供	25人
	○下越圏域高次脳機能障害支援従事者研修会	情報提供	18人
新潟地域振興局 健康福祉部	○地域自殺対策推進協議会	情報提供	33人
	○精神科病院と地域機関の連絡会に関する打ち合わせ 5回	助言	15人
	○精神科病院と地域機関の連絡会(2病院 計4回)	助言	95人
	○新潟圏域精神障害者地域移行支援部会	情報提供	23人
	○新潟圏域高次脳機能障害支援従事者研修会	助言	42人
三条地域振興局 健康福祉環境部	○地域自殺対策推進協議会 2回	情報提供	86人
	○県央圏域高次脳機能障害支援従事者研修会	情報提供	14人
	○高次脳機能障害者家族のつどい 2回	技術支援	5人
	○県央圏域障害者地域生活支援連絡調整会議	技術支援	30人
	○ピアサポート自主学習会・研修会 2回	情報提供	52人
長岡地域振興局 健康福祉環境部	○いのちとこころの支援センター業務研修検討会	技術支援	2人
	○ケース検討会	技術支援	8人
	○中越圏域高次脳機能障害支援従事者研修会	情報提供	59人
	○高次脳機能障害者家族のつどい 4回	技術支援	20人
	○中越圏域自立支援連絡調整会議地域移行支援部会	情報提供	43人
南魚沼地域振興局 健康福祉環境部	○ポストベンション(2カ所 7回、5回)	技術支援	72人
	○ハイリスク者事例検討会	技術支援	31人
	○地域自殺対策推進協議会	情報提供	31人
魚沼地域振興局 健康福祉部	○魚沼圏域高次脳機能障害支援従事者研修会	情報提供	48人
	○高次脳機能障害者家族のつどい	技術支援	2人
	○魚沼圏域高次脳機能障害支援事業の評価と計画	情報提供	4人
	○地域支援ネットワークづくりのためのワーキング	情報提供	25人
	○ひきこもり支援に関する検討会 2回	情報提供	25人
十日町地域振興局 健康福祉部	○地域自殺対策推進協議会	情報提供	27人
	○ハイリスク者事例検討会	技術支援	8人
	○ポストベンション	技術支援	1人
柏崎地域振興局 健康福祉部	○地域自殺対策推進協議会 2回	情報提供	53人
	○柏崎・刈羽地域精神保健福祉を考える会	助言	18人
上越地域振興局 健康福祉環境部	○地域自殺対策推進協議会	情報提供	20人
	○上越圏域高次脳機能障害支援従事者研修会	情報提供	31人

糸魚川地域振興局 健康福祉部	○地域自殺対策推進協議会職域部会	情報提供	18人
佐渡地域振興局 健康福祉環境部	○地域自殺対策推進協議会 ○佐渡地域障害福祉業務新任者研修会（精神保健福祉分野） ○高次脳機能障害者家族のつどい	情報提供 講師 技術支援	28人 15人 5人
小計	63回		1,058人

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
新 発 田 市	○新発田市民のきずなを深め「いのち」を守る会議 ○こころのゲートキーパー研修会	助 言 講 師	25人 15人
燕 市	○こころのゲートキーパー研修会	講 師	16人
見 附 市	○こころのゲートキーパー研修会 2回	講 師	45人
魚 沼 市	○こころのゲートキーパー研修会	講 師	16人
十 日 町 市	○こころのゲートキーパー研修会	講 師	22人
上 越 市	○上越市自殺予防対策関係機関連携会議 2回	情報提供	81人
糸 魚 川 市	○こころのゲートキーパー研修会	講 師	17人
佐 渡 市	○こころのゲートキーパー研修会 2回 ○佐渡市障害者生活支援事業担当者会議（ピアサポート研修）	講 師 講 師	36人 14人
新発田市社会福祉協議会	○若者自立支援のための関係機関・団体情報交換会	情報提供	24人
上越市社会福祉協議会	○ピアサポートフォローアップ講座	情報提供	20人
高 知 県	○災害時の心のケア対策に関する調査	情報提供	4人
新潟地域若者サポート ステーション	○若年者就労支援ネットワーク実務担当者連絡会	情報提供	52人
日本精神科看護協会県支部	○求職者に対するこころと身体健康相談会カンファレンス	助 言	7人
新潟県理容生活衛生 同業者組合	○ゲートキーパー研修打ち合わせ ○ゲートキーパー養成研修連絡会 ○ゲートキーパー養成研修	技術支援 技術支援 講 師	2人 40人 48人
新潟大学歯学部	○新潟大学歯学部特別講義	講 師	33人
新潟青陵大学	○新潟青陵大学大学院特別講義 2回	講 師	21人
県立精神医療センター	○電話相談業務見学実習 2回	講 師	5人
女性福祉相談所	○婦人相談員研修会	講 師	21人
県 警 察 本 部	○警察相談担当者専科授業	講 師	40人
県 労 政 雇 用 課	○労働相談員研修会	講 師	10人
県 障 害 福 祉 課	○いのちとこころの支援センター業務連絡会 3回 ○いのちとこころの支援センター業務新任者研修会 2回 ○市町村等自殺対策対象者連絡会議 2回 ○精神保健福祉業務・自殺対策検討会	技術支援 技術支援 講 師 情報提供 助 言	44人 7人 4人 108人 10人
小計	37回		787人
計	100回		1,845人



## 2 教育研修

精神保健福祉業務従事者及び関係機関の職員に対して研修を行った。

### (1) 精神保健福祉業務担当者研修会

地域振興局健康福祉(環境)部・保健所の精神保健福祉相談員、保健師等の職員を対象に、専門分野の技術向上のための研修会を開催した。

月日 (会場)	内 容	参加者数
平成 27 年 1 月 10 日 (精神保健福祉 センター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義「保健所精神保健福祉業務の今後の方向性について」 講師：全国精神保健福祉相談員会 事務局 相模原市精神保健福祉センター 所長代理 小池 尚志</li> <li>・ グループワーク「保健所業務の今後の方向性と 具体的な取り組みを考える」</li> <li>・ 報告「保健所等における精神保健福祉業務に関する検討会から の中間報告」 報告者：上記検討会構成員 2名</li> </ul>	25 人

※新潟県精神保健福祉相談員会と共催で、同会の業務研修会と兼ねて実施した。

### (2) ケース処遇研修

高次脳機能障害者等の相談支援に従事する者を対象に、新潟神経心理懇話会の協力を得て、高次脳機能障害者の支援技術等を習得するための事例検討会を開催した。

月日 (会場)	内 容	参加者数
7 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討事例 「就労継続 B 型の利用が定着せず、関わり方に苦慮しているケース」 「リハビリテーションセンター退所後の一人暮らしに向けた支援について」 「病識がなく、代償手段の取得が難しい方への支援」 「病識がなく、精神的に不安定な方への就労支援について」</li> </ul>	35 人 (延 82 人)
平成 27 年 11 月 21 日 3 月 13 日 (精神保健福祉 センター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例提供者： 障がい者支援施設 いずみの里 専門相談員 貝沼 静江 阿賀野市障害者総合相談支援センター 相談支援専門員 中山 恵子 新潟県障害者リハビリテーションセンター 副所長 秋山 明美 機能訓練サービス管理責任者 白井 祐輝 生活支援員 小林 義和 障がい者就労支援センタードリーム 就労支援員リーダー 栗原 知恵美</li> <li>・ 助 言 者：新潟医療福祉大学 医療技術学部言語聴覚学科 同大学 大学院保健学専攻 教授 今村 徹</li> </ul>	

※高次脳機能障害ケース検討会と兼ねて実施した。

### (3) 精神保健福祉業務新任者研修会

地域振興局健康福祉(環境)部、市町村、精神科医療機関、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、地域活動支援センター等において、精神保健福祉業務の従事経験が3年未満の職員を対象に、精神保健医療福祉に関する基礎的事項の理解を促す研修会を実施した。

	月日 (会場)	内 容	参加者数
第1日	7月2日 (新潟ユニゾン プラザ 大会議室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「精神障害者施策の変遷とノーマライゼーション」 講師：精神保健福祉センター 次長 野口 晃</li> <li>・「精神保健福祉法と県の精神保健福祉施策の概要」 講師：県福祉保健部障害福祉課いのちとこころの支援室 政策企画員 大橋 正明</li> <li>・「対人援助職のメンタルヘルスとセルフケア」 講師：臨床心理士 榎谷 晶子</li> <li>・「精神疾患の基礎知識(精神医学概論)」 講師：医療法人恵生会 南浜病院 院長 後藤 雅博</li> </ul>	110人 (延209人)
第2日	7月3日 (新潟ユニゾン プラザ 大会議室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「精神保健福祉相談の基礎知識 ～相談援助業務における協働と留意点～」 講師：上越市福祉交流プラザ 障害者相談支援センター (福)上越市社会福祉協議会 センター長 丸山 ひろみ</li> <li>・「精神疾患を持つ方が利用できる制度とサービス」 講師：県央圏域障害者地域生活支援センターやすらぎ 専門相談員 梨の里施設長(精神保健福祉士) 杉山 敦彦</li> <li>・「御本人と御家族の経験から学ぶ」 話し手： 御本人、御家族 コーディネーター： 専門相談員・施設長 杉山 敦彦</li> </ul>	

### (4) 薬物依存関係相談対応研修

薬物依存症に関する相談に対応する地域振興局健康福祉(環境)部・保健所の精神保健福祉相談員、薬物乱用防止対策担当者、精神保健福祉センター相談員等を対象に、薬物依存とその治療に関する基礎的知識習得や、関係機関の取り組み状況の共有を目的とした研修を実施した。

月日 (会場)	内 容	参加者数
平成27年 1月30日 (精神保健福 センター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「アルコール・薬物関連問題～依存症とは～」 講師：独立行政法人国立病院機構 さいがた医療センター 病棟部長 松崎 陽子</li> </ul>	31人

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政説明・取組報告</li> <li>①新潟県薬物の濫用の防止に関する条例の制定について (新潟県福祉保健部医務薬事課薬事指導係)</li> <li>②危険ドラッグの現状 (新潟県警本部刑事部組織犯罪対策第一課)</li> <li>③刑の一部執行猶予制度に係る薬物事犯者の対応について (新潟保護観察所)</li> <li>④薬物依存症への支援の実際 (新潟マック)</li> </ul>	
--	--	--

### (5) 精神医療・保健・福祉関係者合同実践セミナー

当県の精神医療・保健・福祉に関する多職種の関係者が一堂に会した質の高い研修の機会を提供するため、新潟県精神医療機関協議会、新潟県精神障害者家族会連合会、新潟県精神保健福祉士協会及び新潟県精神障害者社会福祉施設協議会とともに毎年テーマを決めて開催。

月日 (会場)	内 容	参加者数
平成 27 年 2 月 27 日  (新潟ユニゾン プラザ 大研修室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演「超高齢社会における認知症の治療とケアの最新事情」 講 師：独立行政法人 国立長寿医療研究センター 内科総合診療部長 遠藤 英俊</li> <li>・シンポジウム「認知症高齢者支援の実際」 シンポジスト： 南魚沼市大和地域包括支援センター 所長 山口 みどり (社) 上越福社会 障害児(者)相談支援センターかなや 相談支援専門員 平原 朝子 認知症の人と家族の会 新潟県支部(新発田地区) 國井 勇次 (医) 高田西城会 高田西城病院 認知症疾患医療センター長 森橋 恵子 (医) 白日会 黒川病院 院長 関野 敏</li> <li>座 長：(医) 敬成会 白根緑ヶ丘病院 院長 佐野 英孝</li> <li>助言者：独立行政法人 国立長寿医療研究センター 内科総合診療部長 遠藤 英俊</li> </ul>	185 人

### (6) 学生実習

平成 26 年度は学生実習の受け入れはなかった。

### 3 普及啓発

県民の精神的健康の保持増進をはかり、関係機関に対して精神保健医療福祉に関する情報等を提供するため、以下の広報普及活動を行った。

#### (1) 関係機関・団体等の開催する講演会・研修会等への援助

関係機関・団体等の要請に応じ職員を派遣し、精神保健に関する知識の普及啓発につとめた。

要 請 機 関	期 日	内 容	参加者数
長岡地域振興局 健康福祉環境部	8月2日	長岡まつり「街頭キャンペーン」	15人
新潟県青少年 育成センター連絡協議会	11月27日	新潟県青少年指導委員等研修会	160人
阿賀野市	12月10日	精神保健福祉ボランティア研修会	25人
新潟地方気象台	12月17日	メンタルヘルス研修会	25人
新潟いのちの電話	平成27年1月22日	相談員養成研修会	17人
県弁護士会	平成27年3月14日	うきうき人権フェスタ	170人
計			412人

#### (2) DVD等の貸し出し

精神保健福祉について正しい知識の普及を図るため、DVDや書籍等の貸し出しを行った。

貸出先	保健所	市町村	病院	地域活動支援 センター等	その他	計
件数	0	0	5	19	5	29

#### (3) 機関誌等の発行

##### ア「精神保健福祉情報マップ」の発行

県内の精神保健福祉関連の社会資源の情報共有と各機関における業務で活用できるよう、「精神保健福祉情報マップー平成26年度版ー」（発行部数800部）を発行し、関係機関に配布した。

##### イ「精神保健福祉だより」の発行

県民や関係者に必要な精神保健医療福祉に関するタイムリーな情報を提供するため、「精神保健福祉だより」（129号 H27年1月発行）を発行し、関係機関に配布した。

##### ウ「ビデオ広報目録」の発行

精神保健福祉センターが所有しているビデオやDVDの目録を年1回作成・配布し、関係機関職員の研修や県民への普及啓発に活用できるようにした。

## 4 調査研究

精神保健福祉活動を推進するため事業のまとめ・調査等を行い、県内外に情報発信した。

### 学会・研究会発表

テーマ	担当者	期日・学会・研究会名（会場）
「精神科入院患者の自殺率について」	所長 阿部 俊幸	平成 27 年 1 月 23 日
「市町村における青年期を中心とした『ひきこもり』の対応状況について」	専門相談員 大原 圭	平成 26 年度福祉保健関係職員研修会 (新潟市：県庁 講堂)

## 5 精神保健福祉相談

### (1) 精神保健福祉相談

来所者及び地域振興局健康福祉(環境)部等の複雑困難な事例について、精神保健相談及び精神医学的診断・指導助言を行い、必要な支援・援助活動を行った。

#### ア 年次別利用者数

	平成 24 年度				平成 25 年度				平成 26 年度			
	実人数		延人数		実人数		延人数		実人数		延人数	
来所	107	男	75	382	80	男	61	256	102	男	76	288
		女	32			女	19			女	26	
電話	656	男	320	1,554	836	男	422	1,442	781	男	391	1,680
		女	317			女	392			女	377	
		不明	19			不明	22			不明	13	
計	763	男	395	1,936	916	男	483	1,698	883	男	467	1,968
		女	349			女	411			女	403	
		不明	19			不明	22			不明	13	

#### イ 男女別・年齢別実件数

		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	計
来所	男	0	14	11	12	10	15	12	2	0	76
	女	0	5	4	4	5	7	1	0	0	26
	計	0	19	15	16	15	22	13	2	0	102
電話	男	0	40	71	62	48	34	25	22	89	391
	女	0	32	66	51	59	33	24	13	99	377
	不明	0	4	0	0	0	0	0	0	9	13
	計	0	76	137	113	107	67	49	35	197	781
計	男	0	54	82	74	58	49	37	24	89	467
	女	0	37	70	55	64	40	25	13	99	403
	不明	0	4	0	0	0	0	0	0	9	13
	計	0	95	152	129	122	89	62	37	197	883

#### ウ 保健所管内別実件数

	新潟市	下越				中越						上越		県外	不明	計
		村上	新発田	新津	佐渡	三条	長岡	魚沼	南魚沼	十日町	柏崎	上越	糸魚川			
来所	40	6	17	5	1	14	9	0	1	0	4	5	0	0	0	102
		29				28						5				
電話	113	31	81	22	26	120	113	11	22	12	35	56	4	15	120	781
		160				313						60				
計	153	37	98	27	27	134	122	11	23	12	39	61	4	15	120	883
		189				341						65				

## エ 来所経路

	保健所	市町村	医療機関	福祉事務所	児童相談所	女性福祉相談所	施設	教育機関	警察機関	司法関係	その他の公的機関
来所	2	6	11	0	0	0	3	4	0	0	2
電話	10	35	45	0	0	0	4	8	5	5	13
計	12	41	56	0	0	0	7	12	5	5	15
	マスコミ	本・パンフレット	インターネット	いのちの電話	個人的紹介	精神障害者手帳	継続	直接来所 タウンページ	その他	不明	計
来所	3	5	21	0	2	0	23	0 / 0	6	14	102
電話	19	53	169	2	13	3	26	0 / 23	38	310	781
計	22	58	190	2	15	3	49	0 / 23	44	324	883

## オ 主訴別案件数

主 訴	来所	電話	計	主 訴	来所	電話	計
発達の問題	2	4	6	家庭内の問題	0	29	29
性格・行動の問題	28	252	280	診断・治療の問題	19	250	269
結婚・遺伝の問題	0	4	4	リハビリテーション	33	98	131
教育の問題	10	23	33	その他	7	59	66
職業の問題	3	62	65	計	102	781	883

## カ 診断名別案件数

診断名(疑い含む)	来所	電話	計	診断名(疑い含む)	来所	電話	計
統合失調症・妄想性障害	0	52	52	摂食障害	1	11	12
そううつ病	0	16	16	パーソナリティ障害	3	16	19
うつ病	4	89	93	精神遅滞	1	5	6
その他の気分障害	0	4	4	自閉症・アスペルガー障害	0	12	12
てんかん	2	4	6	その他の発達障害	3	5	8
老年期精神障害	0	2	2	不登校・ひきこもり	3	16	19
高次脳機能障害	40	78	118	その他	0	9	9
アルコール関連障害	0	16	16	不明	20	285	305
薬物乱用	1	8	9	障害なし	16	91	107
その他の中毒性精神障害	0	8	8	計	102	781	883
神経症性障害	8	54	62				

## 6 組織育成・支援

地域精神保健福祉活動の一環として、精神障害者家族会をはじめ各種団体に対して専門的立場から指導援助を行った。

要請機関・団体	内 容	参 加 者 (人)			備 考
		総 数	家族等	関係者	
新潟県精神医療 機関協議会	○理事会（2回）	17		17	
	○定期総会（6月19日）	31		31	
	○精神保健・医療・福祉関係者合同実践セミナー （平成27年2月27日）	193		193	
	○会報の発行（2回）				
新潟県精神 保健福祉協会	○理事会（1回）	19		19	
	○平成26年度総会・記念講演（県北支部担当） 「統合失調症がやってきた ～100人に1人のよくある話～」 講師 松本ハウス （サンミュージック所属お笑いコンビ）	220		220	
	○新潟こころのケアセンター運営委員会等（3回）	96		96	
	○中越地震10年祈念セレモニー	1,300		1,300	
	○福島県事業の意見交換会、運営委員会（5回）	40		40	
特定非営利活動法人 新潟県精神障害者 家族会連合会	○第45回新潟県精神障害者家族会連合会大会 記念講演「保護者制度廃止、その後」 講師 公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会 理事 良田 かおり	269	※269		※関係者 を含む
脳外傷友の会 スワン	○高次脳機能障害リハビリテーション講習会 実行委員会（8月19日）	7		7	
	○高次脳機能障害リハビリテーション講習会 （8月30日）	110	※110		※関係者 を含む
新潟県理容生活 衛生同業者組合	○ゲートキーパー養成研修事業推進委員会（2回）	42		42	
新潟ダルク はばたきネット	○定例会（薬物依存症問題についての情報交換） （3回）	68		68	
ピアサポート活動 に関する検討会	○ピアサポート活動に関する検討会（3回）	42	※42		※関係者 を含む
計		2,454	421	2,033	※関係者 を含む



## 7 精神医療審査会事務

精神科病院に入院中の者の人権擁護と適正な医療の確保のために、医療保護入院届や定期病状報告書の審査と入院患者等からの退院・処遇改善の請求に関して、精神医療審査会において入院継続の要否や処遇の適否に関する審査を行った。

### (1) 開催状況

ア 合議体 開催回数 24回(2回/月) 出席委員数 延118人  
イ 総会

会議名	開催日	会場	主な議題	出席委員数
平成26年度 新潟県精神医療 審査会総会	12月25日	新潟県精神 保健福祉 センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>会長及び副会長の選出</li> <li>審査状況の報告</li> <li>改正法施行にかかる各種対応について (書類審査の事前送付資料、記載上の留意事項の改訂、予備委員の配置)</li> <li>合議体審査時及び委員からの懸案事項</li> <li>精神保健福祉施策の動向(情報提供)</li> </ul>	11人

### (2) 委員

ア 合議体 4合議体  
イ 委員数 20人(医療委員12人、法律家委員4人、精神障害者の保健又は福祉に関する学識者委員4人)

### (3) 審査状況

#### ア-1 退院等の請求審査

区分	請求 件数	審査 件数	審査結果				意見 聴取 件数	取り 下げ 件数	退院 等審 査 要件 の 消失	平均処 理日数
			現在の入 院形態に よる入院 又は処遇 が適当	他の入院 形態への 移行が適 当	病状等に ついて報 告を求め ることが 適当	入院又は 処遇は不 適当				
退 院 請 求	28	20	20	0	0	0	20	8	0	26.4
処遇改善請求	15	11	11	0	0	0	11	3	1	22.8
合 計	43	31	31	0	0	0	31	11	1	25.1

#### ア-2 請求を受理してから審査結果を通知するまでの期間

区分	日数別件数					合計	平均処理日数
	30日以内	31日以上～ 40日以内	41日以上～ 60日以内	61日以上～ 90日以内	91日以上		
退 院 請 求	12	7	1	0	0	20	26.4
処遇改善請求	8	3	0	0	0	11	22.8

## イ 定期の報告等の審査

区分	審査 件数	(内、 審査 継続 件数)	審査結果				実地審 査件数	意見聴 取件数
			現在の入院 形態による 入院又は処 遇が適当	他の入院形 態への移行 が適当	病状等につ いて報告を 求めること が適当	入院又は処 遇は不適当		
医療保護入院届	2,319	58	2,319	0	0	0	0	0
定期病 状報告	措置入院	8	8	0	0	0	0	0
	医療保護入院	1,516	1,516	0	0	0	0	0
合 計	3,843	152	3,843	0	0	0	0	0

### (4) 審査実施年次推移

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
審査会開催回数	24	24	24	24	24	24	24
定期病状報告書審査件数	1,687	1,623	1,735	1,641	1,660	1,670	1,524
入院届審査件数	2,550	2,398	2,599	2,579	2,301	2,371	2,319
退院等請求審査件数	40	45	39	57	34	25	31

### (5) 退院等請求相談電話の状況

件 数	内 訳		
	入院者本人	家族等	その他
231	223	8	0

### (6) 精神医療審査会関係会議等

会議名	主催	開催日	会場	主な内容	出席者数
平成26年度 全国精神医療審査会 連絡協議会 大阪シンポジウム	全国精神医療審査会 連絡協議会	10月25日	大阪弁護 士会館 (大阪市)	・講演「大阪弁護士会 高齢者・ 障害者総合支援センター について」、「大阪での権利 擁護の取組について」 ・シンポジウム「対応困難事 例の検討」、「改正法の要点 とマニュアル改訂」	1人
平成26年度 全国精神医療審査会 会長会議	厚生労働省社会・ 援護 局障害保健 福祉部精神・障害 保 健課	平成27年 2月27日	アルカディア 市ヶ谷 (東京都)	・精神科病院に対する指導監 督の現状について ・最近の精神医療保健福祉の 動向	2人
全国精神医療審査会 連絡協議会 平成26年度 総会・精神医療審 査会委員等研修	全国精神医療審査会 連絡協議会	平成27年 2月27日	アルカディア 市ヶ谷 (東京都)	・総会 ・講演「精神保健福祉法と審 査会マニュアル改正の概 要」 ・演習(事例検討、グループワーク)	2人

## 8 自立支援医療及び精神障害者保健福祉手帳に関する判定事務

自立支援医療費（精神通院）支給認定の適否及び精神障害者保健福祉手帳交付の可否や等級判定を行った。

### (1) 自立支援医療判定件数 ※手帳同時申請による判定を含む

判定件数	8,148
承認件数	8,052
不承認件数	4

### (2) 精神障害者保健福祉手帳判定件数

判定件数	2,451
承認件数	2,237
1級	200
2級	1,892
3級	145
不承認件数	63

## 9 精神科救急医療システム情報管理・情報提供

精神科救急医療システムの稼働状況の取りまとめ、当番体制の調整・管理を行った。また、テレフォンスービスによる夜間当番病院の案内を行った。

### 精神科救急医療システム稼働状況

(休日昼間)

平成26年度ブロック別比較

状況	ブロック					
	県北	新潟・佐渡	県央	魚沼	上越	総計
稼働状況	47.9%	64.3%	65.3%	47.1%	47.9%	55.3%
稼働日数	58	110	79	57	58	362
当番日数	121	171	121	121	121	655
対応件数	85	220	344	100	113	862
電話のみ	49	101	269	66	77	562
電話→来院	27	97	60	23	34	241
直接来院	9	22	15	11	2	59
処理内容	88	224	355	114	123	904
相談助言	51	106	271	81	83	592
外来診療	25	84	56	28	29	222
入院	12	34	28	5	11	90
任意入院	1	4	4	2	4	15
医療保護	9	30	23	3	5	70
その他	2	0	1	0	2	5

年度別推移

状況	年度						
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
稼働状況	57.1%	56.1%	52.4%	51.2%	52.8%	54.8%	55.3%
稼働日数	377	373	346	338	343	359	362
当番日数	660	665	660	660	650	655	655
対応件数	746	759	722	606	599	696	862
電話のみ	330	311	313	274	285	381	562
電話→来院	321	351	332	264	253	248	241
直接来院	95	97	77	68	61	67	59
処理内容	746	765	816	670	647	727	904
相談助言	344	324	373	301	306	408	592
外来診療	277	319	312	274	244	214	222
入院	125	122	131	95	97	105	90
任意入院	34	35	44	26	29	21	15
医療保護	89	80	80	65	64	76	70
その他	2	7	7	4	4	8	5

( 夜 間 )

平成 26 年度ブロック別比較

状況	ブロック					
	県北	新潟・佐渡	県央	魚沼	上越	総計
稼働状況	65.8%	54.3%	66.8%	39.2%	58.2%	59.5%
稼働日数	73	138	157	20	46	434
当番日数	111	254	235	51	79	730
対応件数	152	306	610	32	76	1,176
電話のみ	111	183	476	20	53	843
電話→来院	36	114	119	11	22	302
直接来院	5	9	15	1	1	31
処理内容	160	306	628	35	76	1,205
相談助言	116	185	485	22	48	856
外来診療	38	74	74	10	20	216
入院	6	47	69	3	8	133
任意入院	0	6	12	0	3	21
医療保護	6	40	49	2	5	102
その他	0	1	8	1	0	10

年度別推移

状況	年度						
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
稼働状況	58.1%	64.1%	58.2%	57.0%	50.7%	67.8%	59.5%
稼働日数	212	234	324	328	291	390	434
当番日数	365	365	557	575	574	575	730
対応件数	397	459	707	656	518	881	1,176
電話のみ	94	138	328	320	210	633	843
電話→来院	272	293	314	278	269	218	302
直接来所	31	28	65	58	39	30	31
処理内容	397	460	742	687	569	917	1,205
相談助言	97	127	348	342	239	653	856
外来診療	215	251	293	259	240	177	216
入院	85	82	101	86	90	87	133
任意入院	5	8	12	12	15	8	21
医療保護	80	73	86	67	72	76	102
その他	0	1	3	7	3	3	10

## 10 自殺対策

### (1) 人材育成

#### ア ゲートキーパー養成研修会

早期発見・早期対応のために、保健医療福祉従事者や自殺対策の相談業務担当者に対し、「ゲートキーパー」としての適切な相談支援能力の向上を図る研修会を開催した。

また、リーダー養成研修を開催し、地域でゲートキーパーを養成するための講師を育成した。

【月 日】 7月22日 【会 場】 精神保健福祉センター 【内 容】 テキストを用いたワークショップ 講師：ルーテル大学自殺危機初期介入スキル研修会認定講師 新発田地域振興局健康福祉環境部 主査 萩原 直美 上越地域振興局健康福祉環境部 主任 入倉 奈緒 精神保健福祉センター 参事 保科 志貴子 【参加者】 18人(保健所、市町村自殺対策相談業務担当者)
【月 日】 8月18日 【会 場】 精神保健福祉センター 【内 容】 テキストを用いたワークショップを開催するリーダー養成 講師：ルーテル大学総合人間学部 教授 福島 喜代子 新潟大学保健管理センター 講師 村山 賢一 【参加者】 16人(保健所、市町村自殺対策相談業務担当者)
【月 日】 9月16日 【会 場】 精神保健福祉センター 【内 容】 テキストを用いたワークショップを開催するリーダーのフォローアップ 講師：ルーテル大学総合人間学部 教授 福島 喜代子 新潟大学保健管理センター 講師 村山 賢一 【参加者】 12人(リーダーとしてワークショップを開催する保健所、市町村自殺対策相談業務担当者等)

#### イ 自殺対策企画立案力向上研修会(官民共同した自殺対策の推進を考える研修会)

保健所、市町村、民間団体など自殺対策に取り組む担当者の企画立案力の向上と情報交換を目的に研修会を開催した。

【月 日】 平成27年1月8日 【会 場】 新潟県自治会館 【内 容】 市町村、民間団体の実践報告 グループワーク 講義「世代の特徴と地域における自殺対策の視点」 講師：(独)国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 自殺予防総合対策センター長 竹島 正 【参加者】 58人
--

#### ウ 自死遺族等支援者研修会

地域精神保健福祉の一つとして自死遺族支援に取り組んでいくために、遺族等からの相談に対する支援技術の向上を図ることを目的に研修会を開催した。

【月 日】平成27年1月15日  
【会 場】新潟ユニゾンプラザ  
【内 容】講義「自死遺族等支援における心理的対応のポイント」  
          講師：(独) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所  
                  自殺予防総合対策センター 自殺予防対策支援研究室長 川野 健治  
          実践報告  
          グループワーク  
【参加者】43人(保健所、市町村自殺対策相談業務担当者)

#### エ「求職者に対するこころとからだの健康相談」に従事する看護職への技術援助

県が日本精神科看護技術協会新潟支部に委託したハローワークでの相談事業に従事する看護職への助言指導を行った。

【月 日】平成27年3月16日  
【会 場】精神保健福祉センター  
【内 容】ケース対応に関する助言  
【参加者】7人

#### オ「いのちとこころの支援センター」専門相談員に対する技術援助

県が県内3ヶ所に開設したいのちとこころの支援センターで相談事業に従事する専門相談員に対する研修会企画及び相談業務等への助言指導を行った。

- 専門相談員等研修会  
【月 日】5月15日  
【会 場】精神保健福祉センター  
【内 容】講義「自殺ハイリスク者への相談技術」  
          講師：新潟県立大学人間生活学部子ども学科 講師 勝又 陽太郎  
【参加者】34人
- 新任専門相談員研修(2回)  
【月 日】9月11日、9月22日  
【会 場】精神保健福祉センター、長岡保健所  
【内 容】第1回 講義「いのちとこころの支援センター事業概要及び機能と役割」  
                  講師：上越いのちとこころの支援センター 専門相談員 澁谷 博  
          第2回 講義「自殺の現状について／希死念慮を持つ相談への対応」及び演習  
                  講師：精神保健福祉センター 参事 保科 志貴子  
【参加者】延11人
- 業務連絡会(3回)  
【月 日】5月15日、10月16日、平成27年1月22日  
【会 場】精神保健福祉センター  
【参加者】延べ44人

#### カ 市町村・民間団体等主催人材養成研修会への技術支援

市町村や民間団体が開催する住民又は団体構成員に対するゲートキーパー養成研修会に対し、企画への助言や講師として開催支援を行った。

市町村主催

【月 日】平成26年6月～平成27年2月

【実施市町村】新発田市、十日町市、燕市、見附市、魚沼市、糸魚川市、佐渡市 延べ9回

【内 容】ルーテル大学自殺危機初期介入スキル研修会のテキストを用いたワークショップや講義形式の研修会等

【参加者】167人

民間団体主催

【回 数】2回

【内 容】新潟県理容生活衛生同業者組合主催の研修企画への助言

【参加者】42人

【月 日】9月1日

【会 場】燕市吉田産業会館

【内 容】ゲートキーパー養成研修（主催：新潟県理容生活衛生同業者組合）

講義①「新潟県の自殺の現状と対策」

講義②「自殺予防のゲートキーパーとして」

講義③「ゲートキーパーのあなたのために」

演 習 ロールプレイ

講師：精神保健福祉センター 参事 保科 志貴子

理容組合ゲートキーパー指導者養成研修修了者

【参加者】48人

## (2) ポストベンション

### ア 自死遺族支援

遺族への支援の必要性についての理解を深め、支援の拡大を図るための事業を実施した。

自助グループ「虹の会」への支援

・例会（年6回：偶数月第1木曜日開催）に会場を提供し、担当2名が支援スタッフとして参加。

### イ ポストベンション

自殺者や未遂者の発生した事業所等団体や関係機関に対して、場のケアやその後の対策への助言等支援を行い、精神的不調者や再発のリスク軽減を図ることを目的に対応した。

・自殺者が発生した機関への支援 13回

・支援機関の対応職員への支援 1回

## (3) 働き盛りのメンタルヘルス対策事業

### ア 働き盛りのメンタルヘルス研修会

精神保健福祉業務新任者研修会

【月 日】7月2日

【会 場】新潟ユニゾンプラザ

【内 容】講義「対人援助職のメンタルヘルスとセルフケア」

講師：臨床心理士 櫛谷 晶子

【参加者】110人

### イ 働く人のメンタルヘルス講座



○ 新潟県女性福祉相談所主催 【月 日】11月26日 【会 場】中央福祉相談センター 【内 容】講義「相談支援者のメンタルヘルス」 講師：精神保健福祉センター 参事 保科 志貴子 【参加者】21人（婦人相談員）
○ 新潟地方気象台主催 【月 日】12月17日 【会 場】新潟地方気象台 【内 容】講義「職場のメンタルヘルス」 講師：精神保健福祉センター 専門相談員 大原 圭 【参加者】23人

#### (4) 市町村・関係機関・民間団体・保健所技術支援

##### ア 市町村・関係機関・民間団体支援

自殺予防対策を実施する市町村・関係機関に対して、技術支援を行った。

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
障 害 福 祉 課	自殺対策推進県民会議	情報提供 技術支援	85人
	市町村等自殺対策担当者連絡会議（2回）		108人
	精神保健福祉業務・自殺対策検討会		10人
労 政 雇 用 課	労働相談員研修会（自殺関連相談対応の留意点）	講 師	10人
新 発 田 市	新発田市民のきずなを深め「いのち」を守る会議	助 言	25人
上 越 市	上越市自殺予防対策関係機関連携会議（2回）	情報提供	81人
新潟障害者職業センター	関係機関連絡会議（職場復帰支援について）（2回）	情報提供	20人
小計	10回		339人

##### イ 保健所支援

自殺予防対策を実施する保健所に対して、資料の提供、会議への出席、研修会講師等を通して技術支援を行った。

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
村上地域振興局 健康福祉部	○村上地域自殺対策推進協議会	情報提供	26人
新発田地域振興局 健康福祉環境部	○新発田地域自殺対策推進協議会	情報提供	25人
新潟地域振興局 健康福祉部	○新潟地域自殺対策推進協議会	情報提供	33人
三条地域振興局 健康福祉環境部	○県央圏域自殺対策推進協議会（2回）	情報提供	86人
長岡地域振興局 健康福祉環境部	○いのちとこころの支援センター業務研修検討会	技術支援	2人
	○ケース検討	技術支援	8人

魚沼地域振興局 健康福祉部	○地域支援ネットワークづくりのためのワーキング	情報提供	25人
南魚沼地域振興局 健康福祉環境部	○ハイリスク者事例検討会 ○南魚沼地域自殺対策推進協議会	技術支援 情報提供	31人 31人
十日町地域振興局 健康福祉部	○十日町地域自殺対策推進協議会	情報提供	27人
柏崎地域振興局 健康福祉部	○柏崎・刈羽地域自殺対策推進協議会（2回）	情報提供	53人
上越地域振興局 健康福祉環境部	○上越地域自殺対策推進協議会	情報提供	20人
糸魚川地域振興局 健康福祉部	○糸魚川地域自殺対策推進協議会職域部会	情報提供	18人
佐渡地域振興局 健康福祉環境部	○佐渡地域自殺対策推進協議会	情報提供	28人
小計	15回		延べ295人

## （5）電話相談事業

自殺対策推進月間（9月）及び自殺対策推進強化月間（3月）期間中、電話回線を増設して相談対応を強化した。

- 相談件数：延べ81件

## （6）高齢者対策

高齢福祉保健課事業に協力することにより、高齢者施策中に自殺対策を位置づけた。

- 介護予防市町村支援委員会専門部会（閉じこもり・認知症・うつ部会）への参加（年2回）
- 介護予防市町村支援委員会への参加（年1回）
- 介護予防従事者研修会への参加（年2回）

## （7）啓発普及

### ア 自殺対策推進月間における普及啓発活動

- 庁舎の懸垂幕による月間の広報
- ホームページを利用した月間の広報

### イ 地域自殺対策キャンペーン

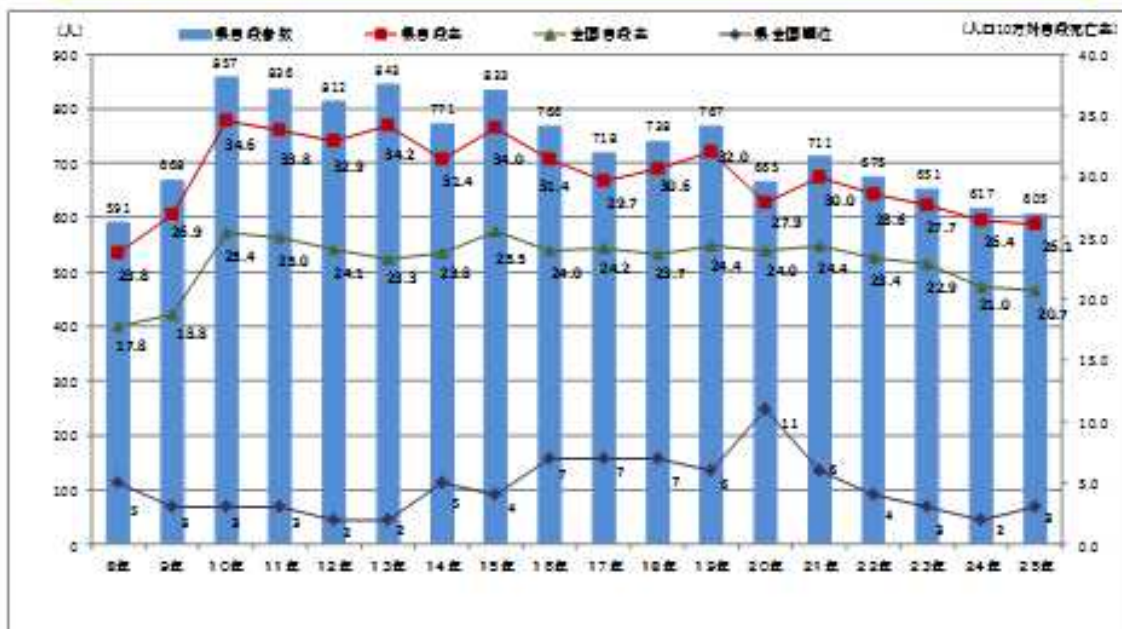
- 長岡保健所との共催により、長岡祭りで街頭キャンペーンを行った。  
8月2日、祭り参加者に、自殺対策のメッセージが入った団扇や紙風船等の普及啓発用品を配布した。
- 平成27年3月14日、県弁護士会主催の「うきうき人権フェスタ～チームで守ろう大切ないのち～」に参加し、当所の業務について関係機関に情報提供した。参加者170人。

### ウ 事業所、業界団体等主催の研修会に講師として参加し普及啓発を行った。（一部再掲）

- 新潟地方気象台主催  
12月17日、新潟地方気象台職員に対して「職場のメンタルヘルス」に関する啓発を行った。

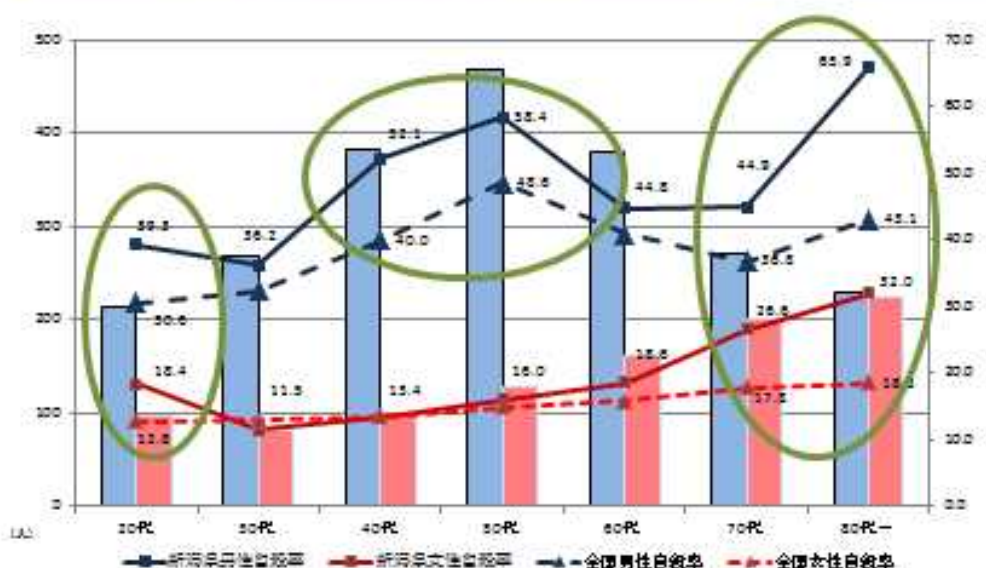
## 自殺者数・自殺死亡率の推移

- 平成25年の自殺者数は605人、自殺死亡率は26.1。
- 自殺者数は減少傾向にあるものの、自殺死亡率はワースト上位で推移。



## 性別・年齢階級別自殺死亡率比較(H21-25)

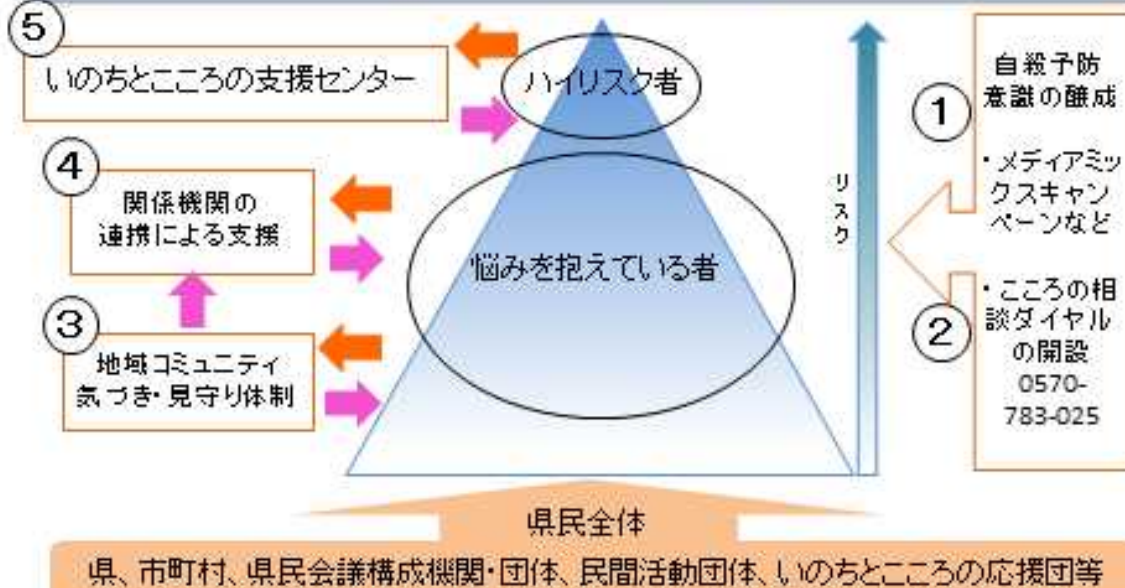
- 過去5年累計の自殺死亡率を見ると、20代の男女、40・50代の男性、70代以上の男女で、全国平均を5ポイント以上上回る状況。



資料:厚生労働省「人口動態統計」

## 新潟県の自殺対策の取組 ー全体像ー

- ◎ 県民の誰もが自殺に巻き込まれることのない社会の実現を目指し、県民一人ひとりが、地域が、職場が、県全体が一丸となり、県民運動として自殺予防に取り組む。
- 県民全体へ、メディアミックス キャンペーンなどにより「気づき・見守り・つながり」の意識を醸成。
- 地域で悩みを抱えている人を身近な住民の気づきにより、早期に相談につなげるとともに、様々な分野の専門家に着実につながり問題解決にあたる。
- ハイリスク者について、いのちとこころの支援センターによる支援を実施。



## 精神保健福祉センターの自殺対策関係業務

### 主催事業等

#### 人材養成研修

ゲートキーパーリーダー養成研修等

#### 働き盛りのメンタルヘルス対策

新聞障害者職業センターに協力等

#### 自死遺族等への支援

- ・「虹の会」開催支援
- ・ポストペンション

#### 相談事業

精神保健福祉相談  
9月、3月は専用回線を増設

#### 啓発普及・情報提供

ホームページを活用した啓発普及  
分析した統計データの提供

### 技術支援

#### 情報提供や助言

保健所、市町村等の会議・検討会での情報提供や助言

#### 技術支援①

保健所、市町村の開催する研修会での講義や講師の紹介

#### 技術支援②

民間団体の行うゲートキーパー養成研修など事業への支援

#### 技術支援③

企業・事業所への出前講座

H27年度も継続実施。

## 11 思春期精神保健相談事業

### (1) 来所相談(再掲)

適応障害や精神疾患等の思春期の心の問題の解決を図るため、年18回思春期精神保健相談を開設し、専門的診断・指導を行った。

#### ア 相談件数

	実件数	延件数
男	11	13
女	4	5
計	15	18

#### イ 性別・年齢別実件数

	～14	15～19	20～	計
男	0	10	1	11
女	0	3	1	4
計	0	13	2	15

#### ウ 診断名別実件数

診断名	件数	診断名	件数
不安障害	0	発達障害	1
適応障害	2	無し	4
摂食障害	0	不明	7
不登校・ひきこもり	1	計	15

#### エ 処遇別実件数

処遇方法	件数
医療機関等に紹介	1
相談継続	1
助言指導	13
計	15

### (2) ひきこもり当事者グループ及び家族学習会

#### ア ひきこもり当事者グループ「シエスタ」

開催日	実施回数	参加人数	主な活動内容
毎週水曜日 10:00～11:30	48回	実 4人 延 139人 (他 見学2人)	フリートーク、スポーツ、ゲーム、調理、外出、チラシ作りなど

イ ひきこもり家族学習会 1回 参加者5人

ウ 自主グループ「ひきこもり家族交流会」への支援 年3回

### (3) 思春期青年期精神保健研修会

思春期・青年期における専門知識の習得・対応技術の向上、ネットワーク活動の推進を図るため、関係機関の職員に対して研修を行った。

月日 (会場)	内容	参加人数
8月22日 (新発田地域振興局仮説庁舎2階大会議室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「不登校・ひきこもりの若者への支援について ～地域とのつながりの視点から～」 講師：NPO法人「にいがた若者自立支援ネットワーク・伴走舎」 理事 鈴木 貴之</li> <li>・体験発表 発表者：ひきこもり経験がある当事者 お子さんが不登校経験のある御家族</li> <li>・グループによる意見交換 助言者：NPO法人「にいがた若者自立支援ネットワーク・伴走舎」 理事 鈴木 貴之 お子さんが不登校経験のある御家族</li> </ul>	21人
12月13日 (パストラル長岡2階平安の間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演「ひきこもりと発達障害～生きづらさを抱える大人の発達障害～」 講師：福島大学大学院 教授 星野 仁彦</li> </ul>	256人

### (4) 調査研究

○平成25年度中の市町村における青少年を中心とした「ひきこもり」の対応状況等について

- ア 目的 市町村における青年期を中心とした「ひきこもり」の相談、支援状況及び問題点を把握する。
- イ 調査期間 平成26年4月9日から5月14日
- ウ 方法 市町村に質問紙を郵送またはメール送信し、ファクシミリにて回答を得た。
- エ 実績 結果を市町村、保健所に報告した。

○市町村における青年期を中心とした「ひきこもり」の対応状況について

- ア 内容 平成21年度から25年度まで5年間の調査結果から、ひきこもりに関する相談の概況と課題をまとめた。
- イ 実績 平成26年度新潟県福祉保健関係職員研修会（平成27年1月23日）にて報告した。

## 12 ひきこもり地域支援センター事業

平成25年4月に県ひきこもり地域支援センターが県障害福祉課内に設置された。当所は協力機関として、ひきこもり相談ダイヤルへの対応等専門相談、関係職員等への研修、普及啓発、市町村等への技術支援を行った。

### (1) ひきこもり相談ダイヤル

ひきこもり相談ダイヤルを設置し、ひきこもりで悩んでいるご本人やご家族からの電話相談に対し、必要な支援・援助活動を行った。

#### ア 相談件数

	実件数	延件数
男	57	87
女	20	29
不明	4	5
計	81	121

#### イ 性別・年齢（実件数）

	10代	20代	30代	40代	50代 ～	不明	計
男	15	21	12	6	3	1	58
女	4	4	2	4	1	1	16
不明	1	0	0	0	0	6	7
計	20	25	14	10	4	8	81

#### ウ ひきこもりの期間（実件数）

ひきこもりの期間	件数
6ヶ月未満	15
1年未満	8
3年未満	16
5年未満	3
7年未満	6
10年未満	6
10年以上	10
不明	16
計	80

\*ひきこもり以外の相談（1件）を除く

#### エ 現在の状況（実件数）

現在の状況	件数
自室からほとんど出ない。出かけてもコンビニ程度	22
普段は家に閉じこもり気味だが、趣味に関するのみ出かける	29
友人との付き合いや、地域活動に参加しているが、未就労	8
不明・その他	21
計	80

\*ひきこもり以外の相談（1件）を除く

#### オ 主訴（延べ件数）

主訴	件数
発達の問題	0
性格・行動の問題	82
結婚・遺伝の問題	0
教育の問題	12
職業の問題	9
家庭内の問題	1
診断・治療	5
リハビリテーション	7
その他	5
計	121

#### カ 処理内容（延べ件数）

処理内容	件数
紹介	28
助言	65
ケースワーク	4
医学的指導	0
その他	24
計	121

## (2) ひきこもり支援従事者研修会

ひきこもりに関する基礎知識及び技術について学び、支援技術の向上を図るため、市町村、保健所等関係機関の職員に対して研修を行った。

月日 (会場)	内 容	参加人数
平成 27 年 1 月 29 日 (精神保健 福祉センター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義「ひきこもりの訪問支援について」 講師：東京都医学総合研究所心の健康プロジェクト 精神保健看護研究室 主任研究員 新村 順子</li> <li>・ 事例検討 助言者：東京都医学総合研究所心の健康プロジェクト 精神保健看護研究室 主任研究員 新村 順子</li> </ul>	29 人

## (3) ひきこもり講演会 (思春期青年期精神保健研修会) (再掲)

ひきこもりの方への理解を深め、家族や支援者の望ましい対応について学ぶことにより支援の充実を図ることを目的に講演会を実施した。

月日 (会場)	内 容	参加人数
12 月 13 日 (パストラル 長岡 2 階 平安の間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講演「ひきこもりと発達障害～生きづらさを抱える大人の発達障害～」 講師：福島大学大学院 教授 星野 仁彦</li> </ul>	256 人

※思春期青年期精神保健研修会と兼ねて実施した。

## (4) 技術支援 (再掲)

要請機関	期 日	内 容 (役割)	参加者数
新発田地域振興局 健康福祉環境部	6 月 2 日	下越圏域子ども・若者支援担当者会議 (情報提供)	29 人
魚沼地域振興局健康福祉部	11 月 14 日	第 1 回魚沼地域ひきこもり支援に関する 検討会 (情報提供)	13 人
	平成 27 年 3 月 6 日	第 2 回魚沼地域ひきこもり支援に関する 検討会 (情報提供)	12 人
新潟県青少年育成センター 連絡協議会	11 月 26 日	新潟県青少年指導委員等研修会 (講話)	160 人
新発田市社会福祉協議会	平成 27 年 2 月 24 日	若者自立支援のための関係機関・団体情報 交換会 (情報提供)	24 人
計			238 人



## 13 災害後の精神保健福祉対策

### (1) こころの緊急支援事業

県民の生命に関わる事件・事故及び災害等で、その衝撃が学校や地域などに深刻な心理的影響を及ぼすおそれがある事案の発生時に、こころの健康管理対策を実施する現地の機関を側面支援するため、派遣要請に応じることが妥当と判断した場合、職員を派遣する。

○精神保健福祉協会こころのケアセンターとの共催で新潟PTSD対策専門研修会の開催

【月 日】 8月6日

【会 場】 新潟県自治会館別館 コンベンションホールゆきつばき

【内 容】

・講義「東日本大震災の津波と原発事故による精神的影響について」

講師：国立精神・医療研究センター精神保健研究所  
成人精神保健研究部長

災害時こころの情報支援センター長 金 吉晴

・講義「遺族の悲しみと向き合っ て ～阪神淡路大震災からの19年～」

講師：神戸赤十字病院 心療内科部長 村上 典子

【参加者】 91人

### (2) 事件・事故に係るポストベンションへの対応

事件・事故等の発生した現場でのこころのケアの要請に応じられる体制をとっていた。  
平成26年度は要請はなかったため、実績なし。

### (3) 東日本大震災への対応

福島県から事業委託を受けた新潟県精神保健福祉協会の事務局として、東日本大震災及び原発事故の被災者のこころのケアのための「福島県外被害者の心のケア事業」の運営に協力した。

○福島県外被害者のこころのケア事業の意見交換会への出席 3回

○運営委員会への出席 2回

### (4) こころのケアセンターへの協力

(財)新潟県中越大震災復興基金及び(財)新潟県中越沖地震復興基金から事業委託を受けた新潟県精神保健福祉協会の事務局として、中越大震災等の被災者のこころのケアのための「こころのケアセンター」の運営に協力した。

○こころのケアセンター運営委員会への出席 1回

○中越大震災9年後調査検討会 1回

○研修会及び中越地震10年記念セレモニーへの出席 2回

## 14 障害者総合支援法関連事業

### (1) 精神障害者地域移行・地域定着支援事業

#### ア 研修会の開催

精神障害者の地域移行・地域定着支援に関する知識の普及や関係者の資質向上を図るため、保健所・障害者地域生活支援センター、精神科病院、市町村、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所等に対して研修を行った。

月日 (会場)	内 容	参加者数
精神障害者地域移行 支援研修会  12月6日 (県立精神医療 センター 講堂)	＊講演「医療と福祉の連携について ～改正法の趣旨と内容、今後の方向性～」 講師：地域生活支援センター サポートセンター きぬた 地域移行コーディネーター・精神保健福祉士 金川 洋輔  ＊実践報告「改正法施行後の病院の取組の実際 ～退院後生活環境相談員、医療保護入院者退院支援委員会、 地域援助事業所との連携はどうしているか?～」 報告者：関病院 精神保健福祉士 店橋 ひとみ 田宮病院 精神保健福祉士 関 正寛  ＊話題提供Ⅰ「精神科病院と地域機関の連絡会について」 話題提供者：障害福祉課 いのちとこころの支援室 主事 大塚 多聞  ＊話題提供Ⅱ 「ピアサポート活動の実際と可能性」 話題提供者：当事者 ほっちゃん 支援センター木もれ Be 精神保健福祉士 西澤 恵  ＊演習「地域移行支援を推進するために私たちの病院(地域)が できることを考えよう」 助言者：地域移行コーディネーター・精神保健福祉士 金川 洋輔 主催：新潟県作業療法士会、新潟県精神保健福祉センター 共催：新潟県精神科病院協会、日本精神科看護協会新潟県支部 新潟県精神保健福祉士協会、新潟県精神障害者社会福祉施設協議会 新潟県臨床心理士会、新潟県相談支援専門員協会、新潟市	109人
第1回 地域移行・地域定着 支援強化研修会 5月19日 (対象) 専門相談員、保健所	テーマ：連絡会の継続とその効果的な開催のポイントを知る ＊講義「病院・行政・障害福祉事業所の連携を促進するために ～「当事者主体」の連携のための大切なポイント～」 講師：(福) 上越つくしの里医療福祉協会 つくしセンター 相談支援専門員 青木 美代子 ＊意見交換 ＊まとめ・講師総評	20人
第2回 地域移行・地域定着 支援強化研修会 平成27年2月23日 (対象) 同上	テーマ：高齢長期入院精神障害者への今後の支援を考える ～上記地域課題に保健・福祉・行政はどう取り組むか～ ＊講義「高齢長期入院精神障害者への今後の支援を考える ～日本精神保健福祉士協会調査報告から～」 講師：龍谷大学 社会学部 教授 荒田 寛 ＊意見交換	20人

## イ ピアサポート活動の推進

平成 24 年度から県事業要綱で「ピアサポーターの活動の推進」が圏域センターと保健所の役割とされたことを受け、各圏域でピアサポート活動に取り組む当事者及び支援者の圏域間交流を図るため、当事者と支援者による検討会を開催。また、全県を対象とした研修・交流会を開催した。

### ○ピアサポート活動に関する検討会

日時 (会場)	内 容	参加者数
第 1 回 5 月 31 日(土)	* 圏域間の情報交換と参加者交流	第 1 回 16 人
第 2 回 7 月 12 日(土)	* 今年度のピアサポートに関する研修会	第 2 回 16 人
第 3 回 平成 27 年 2 月 28 日(土) (精神保健福祉センター)	の開催内容の相談 * 今年度の活動の振り返り * 次年度の開催内容の相談	第 3 回 15 人  延べ 47 人

### ○研修・交流会

日時 (会場)	内 容	参加者数
リカバリーとピアサポートに関する研修・交流会 11 月 22 日(土) (県健康づくり・スポーツ医科学センター 大研修室)	* 講義 「リカバリーって何?ピアサポートって何?」 講師：社会福祉法人 つばめ福祉会 ピアつばめ 施設長 磯田 重行 * リカバリーストーリーを語る/聴く 発表者：ピアサポート活動に関する検討会メンバー 2 名 * グループワーク * まとめ 主催：新潟県精神保健福祉センター、新潟市	69 人

### ○圏域活動への参加・協力

各圏域でのピアサポート活動への取組の参加等を通じ、圏域情報の収集と他圏域の情報提供を行った。

圏 域	内 容	回数・参加者
県央圏域	・ 県央圏域相談支援事業部会自主学習会 「県央圏域のピアサポート活動についてみんなで意見を出し合おう」 ・ 県央圏域ピアサポート研修会	2 回 (53 人)
上越圏域	・ ピアサポート講座フォローアップ講座	1 回 (20 人)
佐渡圏域	・ 佐渡市精神障がい者生活支援事業担当者会議 「ピアサポートに関するミニ講義」、グループワーク 講師：県央圏域障害者地域生活支援センターやすらぎ 専門相談員 杉山 敦彦	1 回 (14 人)

## ウ 精神障害者地域移行・地域定着支援事業担当者連絡会議の開催

精神障害者地域移行・地域定着支援事業担当者の情報交換と事業の具体的内容等の検討を目的に担当者連絡会議を 2 回開催した。

日時 (会場)	内 容	参加者数
第 1 回 5 月 19 日 (精神保健福祉センター)	・ 25 年度事業実施状況と 26 年度事業計画について ・ 今年度のピアサポート活動の推進について ・ 改正法施行を踏まえた今年度の取組内容 (主に「精神科病院と地域機関の連絡会」をテーマにグループ検討 ・ 情報交換	19 人

第2回 平成27年2月23日 (精神保健福祉センター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度の事業実施状況</li> <li>・改正法が定めた事項への各病院での対応状況について</li> <li>・高齢部門との連携について</li> <li>・27年度の事業実施体制と内容について</li> </ul>	18人
-----------------------------------	---	-----

## エ 圏域部会等への出席(再掲)

障害福祉圏域単位で開催される地域移行支援部会等に参加し、情報提供等を行った。

圏域	内容	実績
新潟圏域 (2市1町)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南浜病院と地域機関の連絡会打ち合わせ会(2回)</li> <li>・南浜病院と地域機関の連絡会(第2回、第3回)</li> <li>・地域精神医療連絡会(新津信愛病院との連絡会 1回)</li> <li>・新潟圏域(2市1町)精神障害者地域移行支援部会(1回)</li> <li>・新潟市との事業打ち合わせ会(1回)</li> </ul>	7回 (104人)
中越圏域	中越圏域自立支援連絡調整会議地域移行支援部会	1回(43人)

## オ 新潟県自立支援協議会関係会議への出席(再掲)

自立支援協議会関係会議の他、障害者地域生活支援センター事業の見直しに関して、精神障害者への支援に関する県の拠点相談機関として出席した。

会議名	実績
新潟県自立支援協議会	2回(71人)
新潟県自立支援協議会精神障害者地域移行支援部会	2回(30人)
新潟県自立支援協議会担当者会議	2回(27人)
新潟県障害者地域生活支援センター事業担当者連絡会議	1回(30人)
相談支援体制の整備に関する市町村等担当者会議	1回(70人)
アドバイザー会議(コロニーにいがた白岩の里主催)	1回(18人)
事業再編等にかかる県拠点会議、担当者打ち合わせ	4回(20人)
平成27年度の障害者地域生活支援センター事業に関する説明会	2回(43人)

## カ その他(調査、報告書の作成、関係機関・団体との連携会議)

	内容	実績
調査集計	改正精神保健福祉法への各病院の対応状況に関する調査の集計 実施：県障害福祉課(いのちとこころの支援室) 新潟市こころの健康センター 集計分析：県精神保健福祉センター 新潟市こころの健康センター	精神科病院、圏域センター、新潟市、地域振興局健康福祉(環境)部、関係職能団体へ障害福祉課より情報提供
報告書の作成	「入院継続者379人の現状確認と支援」の取組に関する報告書の作成・発行	精神科病院、圏域センター、新潟市、地域振興局健康福祉(環境)部、関係職能団体へ発送(300部)
関係機関・団体との会議	地域移行支援研修会(多職種)打合わせ会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体会(3回 実14人 延37人)</li> <li>・ワーキング(4回 実8人 延27人)</li> </ul>	7回 (64人)

## (2) 高次脳機能障害相談支援センター事業

### ア 相談支援実績（再掲）

相談支援件数 814 件（延べ件数） 相談支援者数 44 人（実人数）

直接相談（延べ件数）				間接相談（延べ件数）				ケース会議			
電話	来所	メール・書簡	その他（訪問・出張・同行）	電話	来所	メール・書簡	その他（訪問・出張・同行）	主催		協力	
								開催数	参加者数	開催数	参加者数
228	24	6	43	427	4	23	39	4	23	16	108

※直接相談は当事者・家族からの相談、間接相談は関係機関（行政・医療・福祉等）からの相談とする。

### イ 普及啓発

高次脳機能障害についての理解を深め、支援の充実を図ることを目的に実施。

脳外傷友の会「スワン」、上越蓮の会、新潟市及び新潟地域振興局健康福祉部共催。

月日（会場）	内 容	参加者数
高次脳機能障害 支援フォーラム  平成 27 年 3 月 7 日 （新潟市 東区プラザ）	*講演「高次脳機能障害者の日常をささえるコツ」 講師：岐阜医療科学大学 保健科学部 看護学科 教授 阿部 順子  *当事者等による公開座談会「私たちがささえているもの」 *県内関連団体の紹介パネル「みんなでささえる」	175 人

### ウ 関係職員研修の開催

医療福祉関係者の知識、支援技術の向上を図るために研修会を実施した。

月日（会場）	内 容	参加者数
保健所等担当職員 研修会 6 月 10 日 （精神保健福祉センター）	*講義「高次脳機能障害の理解と対応」 講師：新潟医療福祉大学 医療技術学部 作業療法学科 大学院 医療福祉学研究科 教授 能登 真一	14 人
医療関係職員研修会 12 月 7 日 （燕三条地場産業 振興センター）	*講義「高次脳機能障害者の社会的行動障害への対応」 講師：東京福祉大学 社会福祉学部 教授 先崎 章	89 人

月日 (会場)	内 容	参加者数
ケース検討会 7月18日 11月21日 平成27年3月13日 (精神保健福祉センター)	<p><b>【検討事例】</b>            「就労継続B型の利用が定着せず、関わり方に苦慮しているケース」            「リハビリテーションセンター退所後の一人暮らしに向けた支援について」            「病識がなく、代償手段の取得が難しい方への支援」            「病識がなく精神的に不安定な方への就労支援について」</p> <p><b>【事例提供者】</b>            障がい者地域生活支援センター いずみの里 専門相談員 貝沼 静江            阿賀野市障害者総合相談支援センター 相談支援専門員 中山 恵子            新潟県障害者リハビリテーションセンター            副所長 秋山 明美            機能訓練サービス管理責任者 白井 祐揮            生活支援員 小林 義和            障がい者就労支援センタードリーム            就労支援員リーダー 栗原 知恵美</p> <p>助言者：新潟医療福祉大学 医療技術学部言語聴覚学科            同大学 大学院保健学専攻 教授 今村 徹</p> <p>※ケース処遇研修を兼ねて実施</p>	延べ82人

## エ 圏域別支援従事者研修会への技術支援

二次保健医療圏の各圏域において、高次脳機能障害支援に従事する関係者に対して、高次脳機能障害に関する基本的な知識及び支援手法等の普及を図り、関係者の資質向上を図るとともに、各圏域における支援ネットワークの構築に資するため、保健所主催で圏域別支援従事者研修会を実施した。

月日 (会場)	内 容	参加者数
<b>【下越圏域】</b> 10月23日 (村上市教育情報センター)	<p>*講義「高次脳機能障害の理解～高次脳機能障害を地域で支えるために～」            講師：新潟医療福祉大学 教授 能登 真一</p> <p>*情報提供1「高次脳機能障害者支援の実際」            高次脳機能障害相談支援センター相談支援コーディネーター 荻野 見菜子</p> <p>*情報提供2「よりあいサークルけやきの杜の活動について」            よりあいサークルけやきの杜 生活指導員 小野 治佳</p> <p>*事例検討・グループワーク            事例報告：            村上総合病院リハビリテーション科 言語聴覚士 梅田 貴            作業療法士 平野 和行            助言者：新潟医療福祉大学 教授 能登 真一</p>	18人

月日 (会場)	内 容	参加者数
<p>【魚沼圏域】 11月5日 (南魚沼市立ゆきぐに 大和病院)</p>	<p>* 情報提供1 「新潟県の高次脳機能障害者支援について」 高次脳機能障害相談支援センター相談支援コーディネーター 荻野 見菜子</p> <p>* 情報提供2 「魚沼圏域の高次脳機能障害者支援について」 魚沼地域振興局健康福祉部 精神保健福祉相談員 佐藤 恵子</p> <p>* 講義1 「高次脳機能障害患者の具体的支援～医療・保健・福祉の 連携を考える～」 南魚沼市立ゆきぐに大和病院地域連携室 室長 手島 雅敏</p> <p>* 講義2 「高次脳機能障害のリハビリテーション」 南魚沼市立ゆきぐに大和病院リハビリテーション科 科長 井口 光開</p> <p>* グループワーク「支援チームで考えよう！高次脳機能障害支援に ついて」 助言者：南魚沼市立ゆきぐに大和病院地域連携室 室長 手島 雅敏</p>	<p>18人</p>
<p>【新潟圏域】 11月17日 (新潟市役所)</p>	<p>* 事例検討「ケースを通じて学ぶ高次脳機能障害の対応」 事例1 「本人を支援する体制をどう構築するか」 事例提供者 下越病院 MSW 今井 麻衣子</p> <p>事例2 「他者にイライラしたり、怒鳴ったりされる方への対応」 事例提供者 介護老人保健施設入舟 田辺 知美</p> <p>助言者：新潟医療福祉大学 教授 能登 真一 地域活動支援センタースワン 施設長 石井 祐子 高次脳機能障害相談支援センター 相談支援コーディネーター 荻野 見菜子</p> <p>* 講義「高次脳機能障害の対応の仕方」 講師：新潟医療福祉大学 教授 能登 真一</p>	<p>42人</p>
<p>【中越圏域】 12月5日 (長岡地域振興局)</p>	<p>* 講義「高次脳機能障害の理解とその対応」 講師：新潟医療福祉大学 教授 能登 真一</p> <p>* 情報提供1 「新潟県障害者リハビリテーションセンターの支援内容について」 新潟県障害者リハビリテーションセンター 支援課長 小林 圭介</p> <p>* 情報提供2 「新潟県の支援体制について」 高次脳機能障害相談支援センター 相談支援コーディネーター 荻野 見菜子</p> <p>* 事例報告「受傷から40年以上を経てリハビリセンター王見台の 利用に結びついた事例」 障害者支援施設 リハビリセンター王見台 サービス管理責任者 吉田 篤</p> <p>助言者：新潟医療福祉大学 教授 能登 真一</p>	<p>59人</p>

月日 (会場)	内 容	参加者数
<b>【上越圏域】</b> 12月12日 (上越市教育プラザ)	* 講義「高次脳機能障害の基礎知識と対応方法について」 講師：新潟医療福祉大学 教授 能登 真一  * 情報提供 「新潟県高次脳機能障害相談支援センターおよび家族教室・家族のつどいについて」 高次脳機能障害相談支援センター 相談支援コーディネーター 荻野 見菜子  * ケース報告 報告者：上越地域振興局健康福祉環境部 課長代理 丸山 光輝 助言者：新潟医療福祉大学 教授 能登 真一	32人
<b>【県央圏域】</b> 平成27年 3月10日 (三条東公民館)	* 情報提供 「新潟県における高次脳機能障害者支援体制について」 高次脳機能障害相談支援センター 相談支援コーディネーター 荻野 見菜子 「高次脳機能障害者の福祉就労の現況について (調査報告)」 新潟県精神保健福祉センター 主査 清野 美佐緒  * 事例報告「リハビリセンター王見台での取り組み～受傷から40年以上を経て利用に結びついた事例～」 障害者支援施設 リハビリセンター王見台 サービス管理責任者 吉田 篤	14人

## オ 組織育成

高次脳機能障害に関する研修の機会拡大のため、関係団体が実施する研修会の支援を行った。

月日 (会場)	内 容	参加者数
高次脳機能障害 リハビリテーション 講習会  8月30日 (新潟市総合 福祉会館)	主催：高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会 共催：脳外傷友の会「スワン」  * 基調講演 「高次脳機能障害者の生きづらさ 社会的行動障害の理解と支援」 講師：新潟医療福祉大学 教授 今村 徹  * シンポジウム「当事者の心の声」 座長：新潟リハビリテーション病院 リハビリテーション部技士長 佐藤 厚 報告者：当事者2名 地域活動支援センタースワン 施設長 石井 祐子 助言者：総合リハビリテーションみどり病院言語聴覚科 堂井 真理 新潟医療福祉大学 教授 今村 徹	110人



## カ 家族支援

高次脳機能障害者の家族に対し、障害についての理解を深め、負担感・孤独感の軽減とエンパワメントを図ることを目的とし、実施した。

### (ア) 家族教室（会場：佐渡総合病院 2階 講堂）

月 日	内 容	参加者数
9月30日	*講話「高次脳機能障害についての基礎知識～主な症状とその対応～」 講師：介護老人保健施設 相川愛広苑 言語聴覚士 本間 崇彦	延べ24人
10月28日	*講話①「障害者の相談支援と福祉サービスについて」 講師：相談支援事業所 こもれび 相談支援専門員 石川 和順 *講話②「障害者の就労支援について」 講師：障がい者就業・生活支援センター あてび 主任就業支援担当 渡辺 享子 *講話③「介護保険サービスについて」 講師：佐渡東地域包括支援センター 所長 井藤 まゆみ	
11月20日	*講話「高次脳機能障害のご家族の体験談」 講師：高次脳機能障害者のご家族 *参加者と講師の語り合い 助言：介護老人保健施設 相川愛広苑 言語聴覚士 本間 崇彦	

### (イ) 家族のつどい（会場：精神保健福祉センター）

- ・期 間 平成26年6月から平成27年2月（隔月開催）全5回
- ・対 象 高次脳機能障害者のご家族
- ・参 加 者 延べ 25人
- ・プログラム 1回1時間30分 語り合い

### (ウ) 家族のつどい ※共催及び技術支援として

主 催	会 場	期 間	対 象	参加者	プログラム
長岡地域振興局 健康福祉環境部	長岡地域振興局 健康福祉環境部	7月から 平成27年1月 (隔月開催 全4回)	高次脳機能 障害者の ご家族	延べ26人	1回 1時間30分  語り合いや、高次脳 機能障害に関する 学習ほか
魚沼地域振興局 健康福祉部	南魚沼市立ゆ きぐに大和病 院健友館	8月及び10月 (全2回)		延べ5人	
三条地域振興局 健康福祉環境部	三条地域振興局 健康福祉環境部	9月及び11月 (全2回)	平成25年度 家族教室参 加者及び新 規参加者	延べ7人	
佐渡地域振興局 健康福祉環境部	佐渡総合病院	平成27年1月 (全1回)	平成26年度 家族教室参 加者	5人	1回 2時間  語り合いや高次脳 機能障害に関する 学習ほか

## キ 支援体制整備の推進

### (ア) 高次脳機能障害相談支援地域拠点連絡会議の開催

高次脳機能障害相談支援地域拠点における相談支援の現状や課題について情報交換を行い、地域拠点機能の充実を図ることを目的に開催した。

月日 (会場)	内 容	参加者数
6月10日 (精神保健福祉センター)	*報 告 平成26年度国の運営方針について/県の運営方針及び事業計画について/平成25年度地域拠点における相談支援実績について/圏域別支援者研修会について *情報交換 地域拠点の周知について/支援の実態把握について等	17人
平成27年3月13日 (精神保健福祉センター)	*報 告 平成27年度国の運営方針について/平成26年度地域拠点における相談支援実施状況等について/圏域別支援従事者研修会について/家族のつどい・家族教室の実施について/高次脳機能障害に関する調査について/次年度事業について)	14人

### (イ) 高次脳機能障害者の福祉就労に関する調査結果の分析

平成26年1月～2月に実施した調査について、結果の分析を行い、支援拠点運営委員会で報告した。

### (ウ) 魚沼圏域高次脳機能障害相談支援事業に関する評価及び平成27年度事業の検討

魚沼圏域において実施した平成26年度事業についての評価及び平成27年度事業の検討に参加し、情報提供を行った。

## 15 協 議 会 等

関係機関の主催する各種協議会等に参加し、連携・支援を行った。

主 催 者	会 議 等 の 名 称	出席者数(延)
新潟県医師会	新潟県産業保健連絡協議会	1人
新潟県被害者支援連絡協議会	新潟県被害者支援連絡協議会定期総会	2人
新潟保護観察所	新潟県心神喪失者等医療観察制度運営協議会 新潟県覚せい剤事犯者地域支援連絡協議会(2回)	1人 4人
新潟障害者職業センター	新潟地域精神障害者雇用支援連絡協議会(2回)	2人
コロニーにいがた白岩の里	アドバイザー事業担当者連絡会議	1人
新潟県はまぐみ小児療育センター	新潟県発達障がい者支援連携会議	1人
県児童家庭課	新潟県要保護児童対策地域協議会 新潟県配偶者暴力防止実務担当者会議・新潟県配偶者暴力防止連絡会議	1人 1人 1人
県高齢福祉課	介護予防市町村支援委員会	1人
	介護予防市町村支援委員会(閉じこもり・認知症・うつ部会)(2回)	2人
県障害福祉課	新潟県精神保健福祉審議会	2人
	新潟県自殺対策推進県民会議(2回)	6人
	精神保健指定医会議・精神科病院事務長看護部長会議	3人
	新潟県措置入院制度連絡調整会議	1人
	新潟県・新潟市精神科救急医療システム連絡調整委員会	1人
	新潟県自立支援協議会(2回)	2人
	新潟県自立支援協議会精神障害者地域移行支援部会(2回)	3人
	新潟県自立支援協議会担当国会議(1回)	1人
	新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会	2人
新潟県ひきこもり対策連絡協議会	1人	
関東信越関東甲信越ブロック 精神保健福祉センター連絡協議会	関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会役員会(群馬県)	1人
	関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議(群馬県)	1人
全国精神保健福祉センター長会	全国精神保健福祉センター長会議(東京都)	1人
全国精神保健福祉センター研究協議会	第50回全国精神保健福祉センター研究協議会(栃木県)	1人

## 新潟県精神保健福祉センター

〒950-0994

新潟市中央区上所2-2-3

ユニゾンプラザハート館

電 話 025 (280) 0111

F A X 025 (280) 0112